ソリューションブリーフ

Tanium Risk & Compliance

リスクと脆弱性を可視化して、最も重要な問題に真っ先に対応できるよう優先度を分類し、脆弱性や設定不備の是正に必要な詳細データを提供

Tanium Risk & Complianceで、IT資産全体のリスクを適切に制御し、コンプライアンスに準拠。エンドポイントをリアルタイムに可視化し、攻撃を常時監視して、脆弱性を是正し健全な状態に – これらすべてを単一のプラットフォームで自動実行

企業が抱える課題：リスクの把握と是正アクションの優先度の判定

企業には、様々なリスクや規制に対処することが求められています。サイバー脅威の数や複雑度が増す中で、毎年新たな規制の枠組みが制定され、DXの推進により社内は多くのエンドポイントで溢れており、こうしたエンドポイントが攻撃やコンプライアンス違反につながる恐れがあります。

予防型のアプローチで自社のリスクを把握すべきだということは、どの企業も認識しています。しかし脆弱なエンドポイントや準拠していないエンドポイントを探し出し、機密データの所在を把握して、社内のデバイスに潜むラテラルムーブメントのリスクを把握すべきだとわかっているものの、そのためのツールが不足しがちです。リスク・コンプライアンス管理ツールの多くは連携しにくいポイントソリューションで、データを相互に連携できず、リスクレベルを正確かつ完全に把握することができません。管理の手間やコストもかかります。こうしたツールを使っていては、タイムリーに予防型・多層型のアプローチを実施し、社内のリスクとコンプライアンスを管理することが難しくなります。

その結果、何が起こるのでしょうか？

93%

脆弱性管理が「非常に重要」または「不可欠」と考えるセキュリティ担当者の割合

70%

自社の脆弱性管理対策の有効性が「ある程度」またはそれ以下と考えるセキュリティ担当者の割合

271日

セキュリティチームが平均271日かけても、既知の脆弱性のわずか13%しか対処できていない

リスクの蔓延

環境内の脆弱性 (特に未知のもの) が放置されるため、侵害やデータ消失、財務的損失につながることも

組織的なコンプライアンス違反

現行や新規の規制への対応が後回しになることで、罰金や罰則の対象となる恐れが。

可視性の欠如

自社がどんなリスクにさらされているのか、真っ先に対処すべき問題は何か、甚大な被害を出す前にどう対応すべきか、といった情報を経営層レベルが把握できない。

「監査で求められる規制対応項目は増える一方ですが、Taniumがあれば社内をリアルタイムに可視化できるので、コンプライアンス状況を判断し、監査人の要請に即対応することができます」

Barclays
グループチーフセキュリティオフィス
トロエルス・エーリン氏

解決策：リスクとコンプライアンス管理に必要なデータと制御すべてを単一プラットフォームに集約

Tanium Risk & Complianceは、統合プラットフォームの一部として機能し、リスクとコンプライアンスを大規模に管理できます。環境内のエンドポイントのリスクや準拠違反によるインシデントを包括的に可視化し、それらの是正に必要なデータを提供します。また複数のポイントソリューションを、シングルエージェントの単一コンソール、単一プラットフォームに統合できます。Taniumを使えば、これらを実現できます。

- IT資産全体の脆弱性、安全性の低い設定、機密データ、ラテラルムーブメントのリスクをリアルタイムで大規模に常時監視
- 問題の重大度、エンドポイントの状態、同業他社との比較をもとに、修復アクションの優先度を判定
- 業務を効率化し、大きな損失につながる侵害や規制違反による罰金の発生確率を低減

監視

管理/非管理を問わず、すべてのエンドポイントを常時スキャンし、脆弱性とコンプライアンスの問題をチェック

脆弱性やコンプライアンスのリスクは、可視化できなければ管理できません。しかしエンドポイントは動的で多様化・分散化しており、環境が複雑化して、常に変化するリスクを可視化できない恐れがあります。
Taniumを使えば、以下を実現できます。

- ネットワークに負荷をかけることなくエンドポイント全体をスキャンし、脆弱性やコンプライアンスのリスクの有無を数分で確認
- 点在するリスクのソースを集約し、一般的な項目だけでなくカスタム項目（企業に特有の問題など）を監視
- 各エンドポイントや全体のリスクスコアをリアルタイムで算定し、監視結果を定量化

優先順位付け

プロアクティブに協業するリスクベースのアプローチで、真っ先に対応すべき脆弱性やセキュリティの問題を判定

リスクの可視化は最初の一歩にすぎません。企業内には数十万もの脆弱性やコンプライアンスの問題が潜んでいる恐れがあり、最優先すべき対応を判断するのは大変です。
Taniumを使えば、以下を実現できます。

- 個々のリスクの潜在的な影響をエンドポイントの重大度やラテラルムーブメントのリスクに照らして分類し、侵害された場合に最も甚大な被害を及ぼす可能性があるエンドポイントを特定
- エンドポイントや企業全体のリスクスコアを同業他社と比較
- データとワークスペースをチーム間で共有し、協業しながら優先すべき問題を判定できるため、縦割り型の長時間作業が不要に

対処

幅広い制御をリモートでも広範囲にリアルタイムで適用し、脆弱性やコンプライアンスの問題に対応

リスクの優先順位を設定したら、次はアクションの実行です。しかし、リスクのアセスメントと修復アクションは連携されていないことが多く、チーム間での摩擦、対応の遅延、課題が未対応のまま放置されるなどの問題が発生しがちです。
Taniumを使えば、以下を実現できます。

- 単一のデータとプラットフォームを使って、リスクの確認と修復のツールをシームレスに切り替え
- 多岐にわたる自動修復アクションを実行し、リスクスコアへの影響をリアルタイムで確認
- オンプレミスやリモートの管理/非管理エンドポイントを数分で大規模に制御

脆弱性とコンプライアンスのリスクを可視化し、潜在リスクにリアルタイムかつ大規模に対応するためのツールをエンドツーエンドで提供するパワフルなソリューション

様々な機能を搭載したTaniumを使えば、これまで認識や解決が難しかったエンドポイントのリスクやコンプライアンスの問題を把握し、解決することが可能に - 大規模・分散型・動的な環境にも対応できます

可視化

すべてのエンドポイントのリスクの全体像を瞬時に、包括的に可視化。環境の状態を完全かつ正確に把握し、情報を一元管理して、関係チームすべてが共有可能に。

- エンドポイントのデータを常時取得して、対応のベースとなるリスクスコアを瞬時に算出し、新たなリスクやインシデントに関する判断材料を提供
- 従来型の管理対象エンドポイント(サーバ、ワークステーションなど)と、非管理エンドポイント (ネットワークデバイスなど) の両方のリスクデータを収集
- 環境内で検出しづらいリスク（ネットワーク非接続のリモートエンドポイントに存在するセキュリティの問題など）も検出
- 全社的な監視に加え、リスクをエンドポイント単位、事業部単位、地域別、カスタムグループ別にセグメント化して監視
- リアルタイムにスキャンデータを集計し、規制対応の監査やコンプライアンス評価への準備をすばやく実施

制御

リスクとコンプライアンスの管理を簡素化・合理化・自動化。ITチームやセキュリティチームの負担を軽減しながら、体系的にリスクを低減し、コンプライアンスを管理。

- 分散アーキテクチャ・シングルエージェントの単一プラットフォームでリスクとコンプライアンスを管理することで、ネットワークへの影響を最小限に抑制
- 大規模・複雑・分散した環境の膨大なエンドポイントデータも、わずか数秒で収集して分析
- 複数のポイントツールを単一の統合ソリューションに置き換えることで、運用コストと複雑性を低減
- 大きな損失につながる侵害の発生確率を抑え、インシデントが発生した場合でも影響を最小限に
- 規制対応監査やコンプライアンス スキャンの実施にかかる時間、工数、コストを低減し、準拠違反による罰金発生を防止

修正

ツールを切り替えることなくリスクを修復することが可能に。対象のエンドポイントやアプリケーションの安全性とコンプライアンス状態を是正するためのツールがすべてそろったTaniumで、リスクの検出から優先順位付け、修復までの作業を数時間で完了。

- 統合モジュールと自動ワークフローで、パッチ、設定、OS/ソフトウェアのアップデートを高速に適用
- インシデントによる全体的な影響規模を見積もり、影響を受けたデバイスを隔離して、脅威の想定侵入経路をブロックし被害を最小化
- ネットワークへの影響を最小限に抑えながら、大規模ネットワーク全体でネティブのセキュリティ対策を管理し、設定ポリシーを効率的に管理
- 業界フレームワークや一般的な規制の枠組みに準じた設定の強化や脆弱性スャンをすばやく実施
- 修復アクションによる影響をリアルタイムで定量化し、対象エンドポイントや企業全体のリスクスコアの改善傾向を経時的に管理

デモを申込む →

Tanium Risk & Compliancesソリューションが提供する可視化と制御で、環境内の脆弱性を事前に検出して緩和。
一連の流れをデモでご紹介しますので、ぜひお申込みください

業界唯一のコンバージド・エンドポイント管理(XEM)プロバイダであるタニウムは、複雑なセキュリティとテクノロジー環境を管理するための従来のアプローチにおけるパラダイムシフトをリードしています。デバイス間の包括的な可視性、統一されたコントロールセット、そして「機密情報と大規模インフラの保護」という単一の共有目的に向けた共通のタクソノミを提供する単一のプラットフォーム内にIT、コンプライアンス、セキュリティ、リスクを統合することで、タニウムは、すべてのチーム、エンドポイント、ワークフローをサイバー脅威から保護します。
www.tanium.jp をご覧ください。